

令和5年度市民活動助成金事業現状確認結果一覧表(10月時点)

部門	番号	団体名	総事業費	助成金申請額	助成決定額	目的・内容	進捗状況	変更申請
市民活動助成部門	1	福猫の里犬山	769,500	200,000	200,000	野良猫や飼い主のいない猫の殺処分を減らし、そうした猫の安全を確保する。また、地域の住環境を改善するため、野良猫を捕獲し、必要な治療、不妊手術(耳カット)を行い地域に戻すと共に、保護猫の譲渡会や里親の募集を行う。	9月までに、計59匹の猫にTNR(必要な治療、不妊手術等を行い地域に戻す)を実施。子猫を含む42匹を保護。犬山動物病院と福祉活動センターで月2回の譲渡会を実施し、25匹の里親が決定。活動メンバーも増加しているが、子猫の遺棄や保護依頼が後を絶たない。	—
	2	おやこ農園	62,000	31,000	16,000	野菜づくりに関わることで、普段食べているものがどのように作られているか、また野菜を育てる楽しさや大変さを知り、食べ物を大切に作る心を育むため、年間を通じた野菜づくりや収穫会、マルシェ出店を行う。	<助成金辞退>	—
	3	スクールスマイルサポーターズ	302,000	150,000	150,000	発達障がい児や肢体不自由児の“できること・長けていること”を伸ばすには、教師の増員が追いついていない現状があるため、地域の大人たちがサポートすることで教師に余裕ができ、個性を見つけて伸ばすことができるようになることで子どもたちが自信を持って生きていける一助とする。	4月に選挙マルシェに出店。 10月にココトモファーム(株)の齋藤氏による講演会を実施し、75名の参加を得た。 11月にもスマイルマルシェに参加予定。	—
	4	特定非営利活動法人にこっと	354,000	177,000	177,000	子育て期の女性が地元での働き方や、子どもの預け先、家庭の事情などを一緒に相談できる場所がないという現状があるため、女性と事業者が直接コミュニケーションを取れる場として、「第2回いぬやまワーク応援フェスタmeet×meet」を開催する。	会場手配、出店事業者の募集・調整、チラシ・リーフレットの作成・配布を行った。出店事業者も順調に決定。 11月26日(日)10時~15時 市民健康館で実施予定。	○
	5	犬山雅楽会	479,000	200,000	200,000	雅楽を日本の文化の一つとして継承すると共に、高齢化により途絶えてしまおうとしている神事を次の世代に繋ぐお手伝いをする。また、犬山を雅楽でさらに盛り上げるため、観光客をターゲットに城下町で演奏会を開催する。	定期的に練習会を行い、各地で雅楽の奉納、出演を実施。 犬山・伝統と暮らしを楽しむ会とのコラボ企画(11/3)や、城前広場での秋の演奏会(11/19)の他、和楽器体験会(12/9)を予定。 春の寂光院での演奏会と、城下町での道楽は実施を断念。	○
	6	NPOなのはな	386,360	193,000	97,000	「安心安全な食」と「持続可能な環境」を未来に残すことを目的に、有機・自然農法による季節の野菜の栽培と収穫を行うとともに、実践と座学による講座や、四季のイベントを行う。また、学校給食への食材提供も目指す。	土作り、次期季節野菜の植え付けなど、計画していた講座に加え、参加者から要望のあった講座も実施し、月1~2回のペースで活動。 まだ土作りを始めて間もなく、夏場の管理不足、カラス被害もあり、夏野菜は不作であった。	—
	7	竹のwa INUYAMA	261,800	130,000	130,000	古来より良質な竹の産地であるという犬山の特性や、日本文化や伝統技術、物の大切さについて、竹うちわ等のワークショップを通じて広く伝えていく。また、竹林整備イベントを実施し、実際に体験してもらうことにより、会員や関係者の増加を目指す。	竹うちわのワークショップを継続的に実施。6月には予定通りタケノコ狩り竹林整備イベントも実施。 9月に予定していた竹材焼却焼き芋のイベントは会場の都合で年明けに延期。	—
	8	O_COLOR	400,000	200,000	100,000	LGBTQやセクシュアルマイノリティーも含めた多様性のあり方を伝え、誰もが生きやすい町づくりを目指すため、保育園や学校、企業などへ研修や講演を行うとともに、城下町にてイベントを開催する。	7月、10月のマルシェにてワークショップを出店。 7月には今井小学校にて講演研修会を行った。 10月に予定していたイベントは延期予定。	—
—	合 計	3,014,660	1,281,000	1,070,000				